

第1回 学校評議員会・学校関係者評価委員会報告

9月12日（金）に学校評議員会・学校関係者評価委員会を開催しました。学校からは、児童の様子を交えながら教育活動や運営状況、学校評価アンケート結果や学力調査結果の説明をさせていただきました。そして、評議員および関係者の皆様と以下のような意見の交換をいたしました。

学力（調査）について

- ◆6年生が全科目全国平均を上回っている。4・5年生もがんばっていて良い。
- ⇒学校では、基礎学力の定着のため、授業において、子供の主体性を大切にしていく。そのため、子供たちに委ねる授業へと改善をすすめている。また、家庭と協力しながら、基礎基本の定着、主体的な学習を促す（自学）、読書推奨、書く力の育成に努めていく。

あいさつについて

- ◆畠で仕事をしていても、声をかけてくれる。規範意識があつてよい。横断歩道でも、とまってくれた車のドライバーにあいさつしている。
- ◆学校は、きめ細かな指導がなされている。
- ⇒学校では、各学期の最初の月（4月・9月・1月）はあいさつに関する生活目標を掲げ、「名前をつけて」「元気に」「相手より先に」「場に応じた」あいさつができるよう、全校児童で取り組んでいる。朝や帰りのあいさつもしっかりできている。

運動会について

- ◆司会・進行や準備等をすべて子供がしている。準備運動から整理運動、ナレーションまで児童ががんばっている。
- ⇒現在運動会に向けて準備をしている。スローガンは「 $1 \times 27 = \infty$ （みんなの力は宇宙一）～勝より笑！みんなでつくれ！笠野（さいこう）の思い出～」で、「27人全員で笑顔でがんばりたい」、「笠野小学校のことが大好き」という思いが詰まったものである。

学習について

- ◆児童が主体的な授業になっているか。
- ⇒徐々になってきている。すべての授業ではないが、算数の図形の学習や社会科での調べ学習でマイプラン学習を行うことが多い。
- ◆子供が家でマイプランの話をしていた。
- ◆授業参観で、児童自らが司会・進行していくのを見たが、これがマイプラン学習なのか。
- ⇒自分たちで司会・進行をして学習を進めていく子供をガイドと言うが、それは複式授業をしていた時の名残である。今は複式解消講師が入っており、算数なども一つの学年で学習している。数年前までは、わたりの授業という複数の学年で一緒に算数等の学習をしていた。ガイドさんは、子供たちの主体性の育成につながるので続けている。

アンケート及び学校評議員会・学校関係者委員会では、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今回いただいたご意見は、職員で共通理解し、今後の指導・改善にいかしていきます。